

## 資料：日本人によるオープンソースソフトウェアのリスト — 第2版

2003年 オモイカネ株式会社

### 0. リストの目的

すでにオープンソースを使用している多くのユーザーやソフトウェアエンジニアは漠然と日本語のドキュメントの少なさや開発におけるリーダーシップの欠如を感じているものと思われます。本資料はこのような実感を定量化することを目的に、比較的容易に調査可能なクライテリアを用いて作成したものです。専門家・非専門家かを問わず、機械的に再調査可能な基準を選択しています。「代表的」なソフトウェアを集めることや日本人による「貢献度」を表すことを目的としたものではない点に注意してください。

### 1. 対象条件

以下は (1) 日本人 (または日本の法人) がリーダーシップをとっている (2) 一定規模の (3) オープンソースソフトウェアで (4) よく使われているものを調査したリストです。

ソフトウェアの単位としてはプロジェクトとして独立したリリースを一定期間行っている (いた) ものを一単位としました。例えばあるソフトウェアを日本語化した場合、最初からオリジナルソフトウェアと合流して開発していた場合は、対象外とし、一定期間独立してリリースされていた場合に一つの単位と考えます。従って厳密にはソフトウェアではなく開発単位 (プロジェクト) を一単位としています。またソフトウェアとしてはプログラムだけに限定しフォントや文書・画像といったデータのソフトウェアは含めていません。

- (1) 「リーダーシップをとっている」  
 というのは、開発の方針の決定権を半分以上持っている (と推測される) ことを意味します。例えば FreeBSD はオープンソースとしては多くの日本人が貢献していると考えられていますが、それでも開発の責任者のうち日本人の割合は 12% ですので日本人によるオープンソースとは考えられません。<sup>1</sup>
- (2) 「一定規模の」  
 というのは複数のファイルから構成され、ソースレベルで 5000 行以上のソフトウェアを指すこととしました。例えば簡単なスクリプトのようなソフトウェア、小さいフィルタプログラム、小さいパッチはカウントされません。
- (3) 「オープンソースソフトウェア」  
 というのはここでは、ソースを入手することができ、改変が可能なソフトウェアを指すこととします。UNIX 環境用のオンライン配布ソフトウェアは通常ソースコード形態で配布され、ほとんどの場合典型的なライセンスのうちいずれかが添付されるため、オープンソースか否かは明解です。Windows のフリーソフトでは再配布条件が明示されていないことも多々あるため、ソースを公開している場合は広い意味でオープンソースであるとみなしました。従って本リストの全体は「Open Source」よりも広範である点に注意してください。Open Source Initiative が Open Source とする、あるいは Free Software Foundation が free software とみなすと推定されるソフトウェアには先頭に を付しています。
- (4) 「よく使われている」  
 については、配布物のダウンロード数や実際に使用されているかどうかを判断することは困難であるため、以下の基準を用いました。

#### 1. UNIX 環境のソフトウェア

日本で流通している多くの Linux ディストリビューションやフリー UNIX に収録されている場合や、複数回雑誌等に収録される場合によく使われているものと判断しました。

<sup>1</sup>「The FreeBSD Developers/Core Team」[http://www.freebsd.org/doc/en\\_US.ISO8859-1/articles/contributors/staff-committers.html](http://www.freebsd.org/doc/en_US.ISO8859-1/articles/contributors/staff-committers.html), [http://www.freebsd.org/doc/en\\_US.ISO8859-1/articles/contributors/staff-core.html](http://www.freebsd.org/doc/en_US.ISO8859-1/articles/contributors/staff-core.html) によると 339 人がソースコミット権を持ち、うち 41 人が名前から日本人と推測されます。参考までに Linux では、240 人のメンテナがいて、うち 3 人 (1.2%) が日本人です。これは Linux カーネルのソースに含まれる中心的な開発者のリスト (Maintainer list) によるデータです。(2002 年 12 月 11 日現在)

## 2. Windows 環境のソフトウェア

ダウンロードサイト、インプレス社「窓の杜」に掲載されているオンラインソフトウェアをよく使われている基準としました。オンラインソフトウェアはオンラインで再配布可能なソフトウェアを指す用語で、シェアウェアとフリーウェアが含まれます。647本のオンラインソフトを調査対象としました。

なお Mac/PDA(PalmOS/Zaurus) 用ソフトウェアについては省略しています。

## 2. UNIX 環境用ソフトウェアリスト

	国際化/日本語化	mule (emacs/xemacs)	マルチスクリプト化された LISP ベーステキストエディタ
		Citrus	XPG4 ライブラリの NetBSD 上での実装
		Qt 国際化	ウィジェットの国際化
		kon2	マルチスクリプトコンソール
		lv	マルチスクリプトテキストビュー
		kterm	マルチスクリプトターミナルエミュレータ
		ASCII pTeX (日本語化)	組版ソフトウェア
		dvipsk (日本語化)	TeX/PostScript 変換フィルタ
		xdvik (日本語化)	TeX プレビュー
	日本語入力	Canna	かな漢字変換
		FreeWnn	かな漢字変換
		kinput2	日本語入力フロントエンド
	ネットワーク	KAME	BSD での IPv6 実装
		Usagi	Linux での IPv6 実装
		delegate	プロキシ
		PPxP	PPP クライアント
		w3m	キャラクタベース Web ブラウザ
	メール関連	mew	メーラ (MUA)
		sympheed	GUI メーラ
		Wanderlust	メーラ (MUA)
		fml	メールリスト
	言語	ruby	オブジェクト指向スクリプト言語
	OS 関連	grub	ブートローダー
		murasaki	ホットプラグエージェント
	他	午後のこ～だ	高速 MP3 エンコーダ
		timidity	ソフトウェア MIDI プレイヤー
		LHa for UNIX	アーカイバ
		namazu	全文検索エンジン
		VFlib2/3	フォントレンダリングライブラリ

注 1: 「マルチスクリプト」とは日本語スクリプト (平仮名・片仮名・漢字) だけでなく多くの言語のスクリプトに対応しているというソフトウェアの特徴を意味します。「多国語」と呼ばれることもあります。

注 2: 午後のこ～だは、著作権者からは GPL に従って配布されていますが、第三者 (Fraunhofer IIS 社) のソフトウェア特許の技術を含んでいる可能性が指摘されており、日本でも限定的な配布形態がとられています。

### 3. Windows 用ソフトウェアリスト

	ネットワーク	FFFTP	FTP クライアント
		BlackJumboDog	イントラネット用簡易 Web/Mail/Proxy サーバ
	メール (MUA)	nPOP	メール一覧取得ユティリティ
		MailDivide ef	携帯用メール分割ユティリティ
		BookSync	ブックマーク変換ツール
		WWWC	web 更新チェッカー
	言語	ひまわり	スクリプト言語
	他	IP Messenger	IM の一種
		Galactica proxy	リンク 3D 化ツール
		Namazu for Win32	検索エンジン
		caldix	DLL 自動ダウンロードユティリティ
		窓立て 2	ウィンドウ立体化ツール
		nLaunch	キーボードランチャー

## 改版について

本リストはもともとは実務的にオープンソースに関わる方々(エンジニア、マネージャ、経営者、政策策定者)に、社会現象としてのオープンソースの理解を深めてもらうための口頭補助資料でした。しかし、貢献度の他者評価として受け止められてしまったのか、一部の「コミュニティ」からオープンソースの定義を曲げる、などといった非難を受けました。

実際には私達が本資料を使う場合は、OSI の定義を同時に提示し説明をおこなった後か、あるいは既に OSI の定義を理解している方のいずれかに向けて提示しています。従ってオープンソースの定義を軽視することは決してありません。<sup>2</sup>

しかし無用な衝突を引き起こすことは私達の希望するところではありませんので、説明の必要な項目を削除し、単体の資料としての側面に限定したものを改訂版とすることにしました。改訂版での具体的な変更点は以下の通りです。

- リストの目的、ソフトウェアの単位の説明を追加
- 厳密な意味でのオープンソースの区別
- Windows でのフリーウェア文化への言及項の削除、番外の Vz エディタの項削除
- 明白なリスト上の誤りの修正
- 他指摘を受けた箇所の修正

今後、開発者コミュニティ、ユーザーコミュニティが健全に発展することに期待しています。

<sup>2</sup>私達のパッケージ製品マニュアルでも、フリーであることの意義について約 1 ページ説明し、DFSG の存在や URL についても触れています。